

## 統合失調症を治すこと

### ～患者さんとそのご家族の皆様へ～

統合失調症は、100人に一人が発症するとされる大変一般的な病気です。脳の機能異常とされていますが、その詳細な発病機序はまだ明らかにされていません。10代後半から20代にかけて幻覚や妄想で発症することが多く、学業や就労に影響を与えるために社会的な生産性が大きく低下してしまいます。長年にわたって続く陰性の症状（意欲の低下、引きこもり、対人関係の障害など）によって社会復帰が妨げられていることも多くみられます。治療には十分な経験を持つ精神科医による薬物療法を前提として、リハビリテーション、社会福祉の付与、職業訓練などが必要になります。当院では、できるだけ最低量かつ適切な薬物療法、効果的な注射薬などを用いて患者さんの症状を安定化させ、副作用を軽減することに努めています。また、地域にある作業所、就労支援センター、福祉相談室、訪問看護ステーションとの強力な連携を通して、患者さんの一日も早い社会復帰を目指しています。残念ながら、我が国における統合失調症の治療は、先進国と比較して大きく遅れをとっています。発病早期における多くの患者さんが、初期治療に失敗してその後の人生に暗い影を落とすのを何度もみてきました。当院のスタッフは、統合失調症の治療に関して十分な知識と経験を持つばかりでなく、患者さんを地域で支えることに最も力を傾けてきました。この病気で苦しまれる患者さんにご家族のよきパートナーとして歩み、共にその悩みの解決に貢献することができるものと信じています。初診の方、既に治療中の方いずれでも、ご連絡いただければ可能な限りのサポートをさせていただく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。